

2016年10月14日(金)

未来への扉



高等特別支援学校 支援部 第 88号

使い分ける練習

1学年支援部 N. D

僕は高校でアメリカンフットボールを始め、大学でも競技を続けたいと思い進学し、部活動を通していろんなことを学びました。

大学の部活には少し変わった挨拶がありました。「おはようございます」「こんにちは」などの挨拶は「おお」という挨拶です。学校内で先輩とすれ違うときには「おお。」と挨拶をして、監督の先生が授業で来られると「おお。」と挨拶をして、練習のためグラウンドへ行って「おお。」と挨拶をする。このような感じで少し変わった挨拶に慣れていきました。

最初の「お」は低く、次の「お」は少し音程を上げるというアクセントで、最近のネットの文字でよく見る矢印を使って「おお↗」というような表現で表わせそうな言い方でした。僕たちアメフト部員はこの言葉でいろんな人に挨拶をして過ごしました。ですがアメフト部と関係のない先生や、外からの来校者の方には通じないということも学びました。挨拶をした時に相手の反応が変である、「おかしいな」ということにも気づきました。大学生活を送る中で、部活外の人には普通の挨拶、アメフト部の人には「おお。」の挨拶を行って行く中で「使い分ける力」というものを身につけることができました。

最近、高特生のお互いの呼び方のことで気づくことができました。休み時間は仲良くあだ名で呼び合っていますが、授業中にあだ名で呼ぶことや、実習日誌に書くときにあだ名で書くなどはふさわしくないので使い分けることができているように感じました。「使い分ける」練習が日々できているということです。

それでは苗字ではなく下の名前で「〇〇(呼び捨て)」「〇〇ちゃん」等と呼ぶことはどうでしょうか。校内では女子同士でたまに見かけたりします。下の名前で呼ぶことは社会人になった時にはどうでしょうか。僕は日本でしか働いたことがないのですが、日本の職場ではあまり見ることのない光景だと思えます。もし下の名前で呼び合うような仲の良い同僚がいたとしても、それはプライベートな時だけにしたいものです。(仕事時のON・OFFの切り替えと同じように。)目上の人や上司の前などの公の場で、同僚をあだ名で呼ぶことは常識がないと思われるってしまうこともあるからです。

また1年生の中では、下の名前で呼んで欲しい、また下の名前で呼びたい等の生徒の意見を聞くことがあります。休み時間などはよいと思います。ですが社会人となった時に職場や仕事中等の場合によって、使い分けができる力を身につけておく必要もあります。下の名前で呼ぶことは人間関係の潤滑油となる可能性もありますが、間違った時には相手の怒りの炎の着火剤にもなってしまいます。

校内のいろいろな場面で「使い分ける」練習を探して実践して行ってほしいです。言葉遣いや態度などは特にそうです。まずは授業のON・OFFから。そして、時と場合・場所(TPO)を考えて使い分ける、ということの必要性も練習していく中で知っておいてほしいと思います。



N. D、18歳の頃
(立っている方)

K(キッカー)というポジションをしていました。その名のとおり、ボールを蹴るだけのポジションです。しゃがんでいる人がボールを置いて、キッカーが蹴ります。この写真はFG(フィールドゴール)を蹴っている場面です。

うちの先生♪ A.S 先生

<◆ゴシック、(ゴシック)はレポーターY>

☆生徒指導部のA.S先生にお話を聞いてみました～☆

◆農業の先生になりたいと思われたのは?

私ね、花が好きなんです。興味を持ったのは小学校1年生。(幼い時期からなんですね～)私の母校は加西市の五百羅漢さんの近くなんですね。花づくりに力を入れていて市内でもピカイチと言われていたんですよ。温室が3つあってクラスごとに花壇があって。クラスで花を育てていましたねえ。3年生からは野菜も育てましたよ。私はナスを育ててたくさん採れました。(夏野菜だと夏休みの水やりはどうされたんですか?)水やり当番がありましたよ。生き物もみんな育てていたのでそうじ・エサやり当番もあったし。インコ、うさぎ、にわとり、錦鯉…。(うわ～、よく覚えていらっしやいますね～)6年生の時の先生が花づくりの話をよくしてくれたのは特に印象的でした。家でも親が花を育てていましたけれど子ども心によそよりキレイだとは思えなかったんでね、うちのもキレイに咲くように手を加えていました。(花とのつきあいってすごく長いんですね)花は心の友です♪



◆生き物は飼っていたのですか?

ん…。カエルとか、カメとか。田んぼの間を駆け回って捕まえてはバケツの中で飼っていました◎(今も?)いえいえ、今は金魚です。大和郡山市の金魚って知っていますか?(夏まつりの金魚すくいでは有名な?)そうそう、「全国金魚すくい選手権大会」ね。(出られたんですか?)出ていませんよ(笑)(あら残念)あ、でもそこではないんですけどね…。3年前に稚魚で買ってきた寿恵廣錦という種類の金魚がね、今では20cmを超えるくらいになっていますよ。(おっけい!)

◆生きものを育てるのって休みがありませんよね。

農業は授業以外でも休みはないですね。GWも夏休みも3連休も休みなく世話が要ります。野菜はすぐには育たない、見通しがつかみにくく根気が要りますね。けれども手をかけた分、結果は作物に現れます。ひとつの食物がどれだけ手間暇かかって食卓に並ぶのか、そのありがたみにも気づいてくれたら嬉しいと思って農業という授業に取り組んでいます。

◆ゆっくり過ごせるようになったら何がしたいですか?

泊りの旅行をしたいかな…。それとうさぎを飼いたいですね。(名前も考えないといけないですね◎)見てるだけで癒されます～